

# 平成24年度 事業報告

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

## 1 概 要

平成24年度は、ロンドンオリンピックでの日本選手の活躍、山中教授のノーベル賞受賞などの明るい話題もありましたが、経済においては、欧州の経済不安、中国や新興国の成長の鈍化、家電に象徴的に表れた日本製品の販売不振、そして円高の影響等、引き続きリスクの高い状況が続いています。また、いじめや虐待、孤立死、生活保護費の不正受給などの社会現象も目立った一年でもありました。

このような社会経済情勢にあって、当センターの平成24年度事業実績は、市補助金の70万円減額等もあり経常収益の大幅な減額が見込まれましたが、総額では昨年度実績を168万円下回ったものの、会員・役職員の皆さまの努力により、予算額を302万円上回ることができました。

今後も、シルバー事業を取り巻く環境は厳しいものが予想されますが、「自主・自立・共働・共助」の基本理念の下、今にも増して「お客様第一主義」に徹し、多様なニーズに対応できる組織作りに向け、会員・事務局一体となった総力の結集に努めます。

また、公益社団法人の役割として、地域社会の活性化へ貢献するために、会員一人ひとりが「福祉の受け手から社会の担い手」になる活動が必要であり、地域班等地域組織を通じた地域に貢献できる活動を充実させ、同時に会員同士のつながりと親睦で日々の生活の充実を図り、就業に当たっては発注者の信頼と信用を得て、発注者の満足度の向上を図るとともに、地域に貢献する高齢者の公益団体としてさらに発展するよう努めてまいります。

以下、平成24年度において実施した事業の実績概要を報告いたします。

## 2 事業内容

### (1) 正会員の状況 《公1》〔1〕4-(1)・(4)

平成24年度末の在籍会員数は358人(男性222人、女性136人)で、前年度末に比べ27人の減となりました。

新規入会者は38人(男性25人、女性13人)、退会者は65人(男性43人、女性22人)となっています。

今後も、新規入会希望者を対象とした毎月第三木曜日の説明会開催など、あらゆる機会を捉えて積極的にシルバー事業をPRし、健康で働く意欲のある会員の確保に努め、組織の安定化を図っていきます。

## (2) 就業状況 《公1》〔1〕4-(3)

年間を通じての就業会員数は、358人中328人で、就業率は91.6%と前年度(91.4%)を上回りました。

男女別の就業率は男性90.5%、女性93.4%となっています。

また、就業延人員は34,893人で、前年度に比べ363人増加しました。

今後も、就業分野の開拓・拡大を図ると共に会員の能力や経験を把握分析し、就業率の向上に努めていきます。

## (3) 受注状況 《公1》〔1〕4-(3)

平成24年度の受託件数は4,561件で、対前年度比102.8%、件数にして123件の増となりました。これを職群別で見ると、除草、清掃、草刈等の「一般作業群」が2,557件(全体比56.1%)、剪定、襖・障子の張替え等の「技能群」が1,178件(全体比25.8%)、福祉家事援助、家庭内清掃等の「サービス群」が478件(全体比10.5%)となっており、この3職群での合計は総受注件数の92.4%に達している状況です。

受託契約金額は、157,914千円で対前年度比99.3%、金額にして約1,071千円の減となりました。

発注者別の構成比では、公共事業が49,168千円(公民比31.1%)、民間事業が108,746千円(公民比68.9%)となっています。

## (4) 安全就業の確保 《公1》〔1〕4-(2)

安全就業対策については、安全委員による就業現場への巡回や交通安全等各種講習会を実施し、会員の事故に対する一層の意識の高揚を図り、事故の

未然防止に努めてまいりました。

しかし、平成24年度の就業中の事故は、物損事故が1件（前年度2件）、傷害事故も1件（前年度0件）発生致しました。

平素から、会員一人ひとりが「自分の身は自分で守る」という安全意識を自覚し、健康管理に努め、就業途上の交通ルールの順守、就業中の安全確認及び安全保護具の活用の徹底などにより、事故撲滅に努めていきます。

また、会員の安全意識の高揚を図るため、安全就業の標語の募集をいたしましたところ、24人から61作品の応募があり、最優秀賞1作品、優秀賞3作品を選出しました。

#### **（５）福祉家事援助サービス《公1》〔1〕4－（3）**

福祉・家事援助サービスの受託件数は478件で、対前年度比3.6%減（前年度496件）、就業延人員は4,322人で対前年度比1.1%の減（前年度4,370人・）となりました。

今後益々高齢化が進展することに伴い、本サービスのニーズが急増することが予想され、それに対応できる組織体制を確立し就業機会の拡大を図ることが重要になってきます。

そのため、平成24年度は、会員の資質向上を図るための「スキルアップ+調理講習会」を開催しました。

#### **（６）普及啓発活動の実施状況《公1》〔1〕4－（1）・（5）**

シルバー事業への信頼と理解が得られるよう、事業の意義と仕組みの周知を図るため、ポスター、パンフレット等を各公共施設等へ配布依頼をいたしました。

また、10月の「シルバーの日」には、早朝より会員約100人の参加により府中公園、上下駅周辺、北市民病院等、公共施設の清掃ボランティア活動を実施して、地域のみなさまの理解を深める取組みを行いました。

#### **（７）研修会・講習会の取組み《公1》〔1〕3**

会員の技能向上を図り就業機会の拡大に資するため、国の委託事業「シニア

ワークプログラム地域事業」を(公社)広島県シルバー人材センター連合会と連携して実施しました。

講習で習得された技術を活かし、再就職を希望される方には合同面接会を実施し、事業所へ採用された方もあり実効性のあるものになりました。

また講習修了者の中で就業意欲のある方が、各職群の会員として入会され会員増にも結びつきました。

【長期講習：連合主催、日程等】

期 日	講習・研修名	受講者数
11月5日～11月29日	スキルアップ+調理講習	14人